

# result\_extractor.pyの使い方

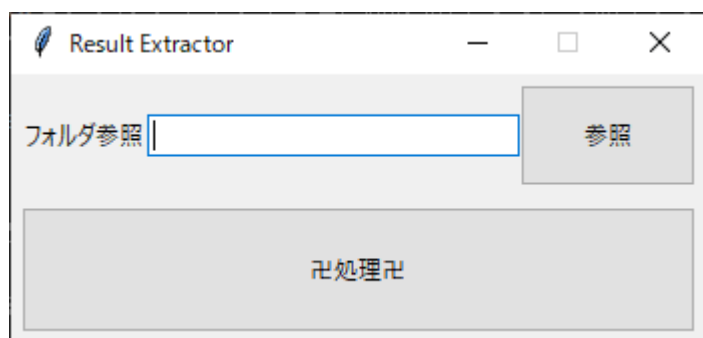
## 開発目的

いちいち吸光度測定したcsvファイルのデリミタを変更して抽出するのがめんどくさかったので自動化することにした。

## 使いかた

pythonがインストールされていることが前提条件。 インストールされていない場合は[ここ](#)からダウンロードする。

## GUI版の使い方



result\_extractor\_gui.pywをダブルクリックすると画面が開くので、参照ボタンを押して吸光度測定機で出力されたcsvファイルの入ったフォルダを選択する。

**選択したフォルダの直下のcsvしか処理しません。**

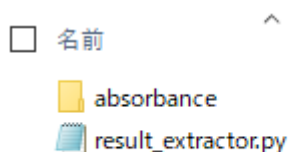
そしてスペースキーか「処理」ボタンを押すと確認ダイアログが表示され、そこで「はい」を選択すると処理が実行される。処理ディレクトリに吸光度測定器から出力されたcsv以外のcsvが混じっていると、エラーが出てそこで処理が止まるので注意すること。

## CUI版の使い方

Windowsで実行する場合、

```
py result_extractor.py (csvの入ったフォルダ名)
```

と実行する。例えばフォルダとスクリプトが



という位置関係にあるとする。このときは

```
py result_extractor.py absorbance/
```

と入力して実行すること。

すると,

```
Be about to search: (csvの入ったフォルダの絶対パス)  
実行すると元ファイルに破壊的変更を加えます。 初回実行時はバックアップを取ることをおすすめします。  
Enterキーを押下してください。
```

と表示されるのでEnterキーを押すと処理が始まる。

**選択したフォルダの直下のcsvしか処理しません。**

抽出されたデータは元のファイルに上書きされるので、計測ソフトの仕様変更が行われた場合ファイルを破損させてしまう可能性がある。研究を始めて1回目の実行の際は必ず一度は適当なデータで試してみることをオススメする。

2022/02/01. 5年システム制御情報工学科 武井 冬馬